



市川市立妙典中学校だより 2月号

息吹 03



学校教育目標 未来を拓く妙典中学生 ～明るく・正しく・美しく～

○ふれあいを大切に生徒 ○進んで学ぶ生徒 ○頑張り抜く生徒 令和4年2月14日

〔表題「息吹」は、妙典中校歌、2番の歌詞「♪～世界の息吹うけとめて、生きる力を身につけん～♪」から付けました。「03」は令和3年度を表しています。生きる力を身につけ、未来を拓く妙典中生の育成を目指します。〕

2年合唱発表会

1月27日（木）、2年生にとって中学校初めての合唱発表会が行われました。感染拡大防止のため、窓を開けた体育館のフロアに1クラスずつ交代で入ってきた生徒たちは、間隔を取って貼られたテープの上に立ってスタンバイ。緊張しながらも、「練習してきた成果を出そう」という決意が、マスク越しにも伝わってきます。代表による曲紹介の一言や、模造紙いっぱい自由曲のイメージが描かれた「めぐり」にも、各クラスの個性が出ていて素敵でした。



出だしからしっかり声が出るクラス、男女のハーモニーが抜群のクラス、大きな声ではないけれど丁寧に歌うクラス、手拍子やソロパートなどの工夫が効果的なクラス…。どのクラスも精一杯発表し、歌い終わった後は見守っていた担任の先生と語り合いながら、ほっとした気持ちと充実感の入り混じったとても良い表情を浮かべていました。そして、各教室ではリモート画面から流れる他クラスの発表をととても熱心に聴く姿がありました。来年は3年生。この経験を生かして、妙典中に受け継がれてきた素晴らしい合唱の伝統を繋いでいってほしいと思います。

抜き打ち避難訓練

1月24日（月）、今年度3回目の防災訓練を行いました。生徒には1月中に行うこと以外日時も状況も伝えず行った、実践力が試される訓練でした。それぞれが思い思いの場所でリラックスして過ごしていた「昼休み」という、まさかの時間帯に、近くに誘導してくれる先生もいない状態で、落ち着いて避難行動がとれるかがポイントでしたが、「地震発生！」の放送に、全校生徒がすぐに反応して身を守る姿勢をとり、「地震は収まったが出火。校庭に避難してください」と続報が流れると、混乱することなく、速やかに校庭に避難を完了することができました。今回はさらに、「出火場所付近の階段が通れない」「行方不明の生徒がいる」など、より実践的な状況を設定し、状況確認のためにしばらく待機する時間もありませんでしたが、終始無言で、真剣に訓練に参加することができ、大変立派でした。以下は訓練後の講評です。



今回の防災訓練は予告なしで行いました。突然、しかも昼休みに緊急放送がながれ、驚いたと思いますが、すぐに状況をとりえ、整然と避難行動に移ることができて、非常に良かったと思います。

日常と違う場面に身を置くことになったとき、誰しも緊張や戸惑いから、うまく行動できなくなります。部活の大会や習い事の発表会がそうですね。大会や発表会は、いつあるかわかっているもので、うまくいくように2つの準備をします。1つは、対戦相手の情報を集めて対策を練ったり、道具の整備をしておくなどの具体的な準備。もう一つは、本番で心が乱れないように、あらかじめ当日をイメージして行動を考えておいたり、練習を積み重ねることで、いつもと違う精神状態でも体が勝手に動くようにしておいたり、といった、いわば心の準備です。

いつ起きるかわからない地震や火事などの災害ですが、準備に関しては同じです。今日のような訓練を、真剣な気持ちで繰り返すことで、いざというときに冷静に行動できる心の準備ができます。そして、今日帰ったら、防災グッズや避難場所の確認などの具体的な準備についても、家族と話しあっておくとよいと思います。災害はいつ来るかわかりません。自分の命を守るため、常に心の準備と具体的な準備を整えておきましょう。

部活動等表彰の記録

- ・剣道部 千葉県中学校新人剣道錬成大会 男子団体 敢闘賞（ベスト8）
昇段審査会 剣道二段4名 剣道初段 5名
- ・バスケットボール部 千葉ジュニア強化指定選手証
- ・バドミントン部 市川市・浦安市中学生バドミントン1年生大会 女子シングルス 第1位
- ・卓球部 市内中学生卓球大会 男子1年生の部 第5位 女子1年生の部 第5位
- ・吹奏楽部 千葉県アンサンブルコンテスト 中学生の部 木管八重奏 銀賞
千葉県吹奏楽個人コンクール西部地区予選 中学校木管の部 金賞 優良賞 中学校金管打楽器の部 銀賞 銅賞
- ・合唱部 千葉県合唱アンサンブルコンテスト 中学校の部 金賞
- ・五市合同技術・家庭科作品展 家庭分野 市川市教育長賞1名 入選3名 技術分野 入選4名
- ・健康づくり標語コンテスト 入選 ・国土緑化運動ポスター原画コンクール 佳作
- ・千葉県PTA主催三行詩コンクール 中学校の部 千葉県代表作品 ・子ども県展 入選 佳作



校外学習事後学習



11月30日（火）に1年生が、12月2日（木）に2年生が、それぞれ東京ディズニーシーと木更津クルックフィールズに校外学習に出かけたことは以前にもお伝えしましたが、その後の事後学習もとても素晴らしかったので、改めて紹介します。

1年生は「ハピネスの秘密を探る」をテーマに、ゲストに対するディズニーの理念や工夫を、SDGsやキャリア学習など様々な視点も交えてパーク内を調べたり、キャストにインタビューするなどして探求し、その成果を班ごとにわかりやすくまとめ、パワーポイントで発表しました。

2年生は「フィールドクエスト」を合言葉に、クルックフィールズが行っている様々なSDGsの取組や当日の活動を通して感じたことを、自分たちがこれまで学んできたSDGsの学習を踏まえて班ごとに工夫してまとめ、パワーポイントで発表しました。2月14日（月）の全校集会では、両学年の代表者による発表が行われ、全校生徒がそれぞれ他学年の活動を、興味深く聞いていました。

生徒による授業評価アンケート

本校では毎年、「生徒による授業評価アンケート」を行って授業改善に活かしています。今年度は重点的な取組の成果が測れるよう質問項目を見直し、1学期末と2学期末の2回実施して変容を比較するなど、より有意義なアンケートになるように改善しました。以下はその結果です。

質問項目	「はい」「どちらかといえばはい」(7月)	「はい」「どちらかといえばはい」(12月)
1 授業では、ほかの人の話を最後まで聞く環境ができています。	93.1%	94.6%
2 授業では、自分の考えを伝えたり、表現したりする場面がある。	84.1%	90.4%
3 授業では、めあてやねらいに対して、自分で考え、取り組む場面がある。	92.4%	95.0%
4 授業では、話し合いなどの活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする場面がある。	92.0%	95.0%
5 授業では、学習の取組を振り返り、分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげる場面がある。	84.1%	91.3%
6 私は、授業の中で、ほかの人の話を最後まで聞くことができる。	96.1%	96.4%
7 私は、授業の中で、自分の考えを伝えるように工夫している。	76.5%	82.2%
8 私は、授業の中で、めあてやねらいに対して、自分で考え、取り組んでいる。	84.1%	90.2%
9 私は、授業の中で、話し合いなどの活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。	85.5%	90.5%
10 私は、授業の中で、学習の取組を振り返り、分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげるようにしている。	78.7%	87.9%

「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、重点的な取組とした「ほかの人の考えを聞く」「自分の考えを伝える」「めあてやねらいを意識して取り組む」「話し合いを通じて考えを深める」「取組を振り返り、次の学習に繋げる」といった活動が実際に授業で行われていると感じているか（教師側の取組に対する評価）を、前半の5項目で聞き、後半の5項目は同じ内容について、自分の取組はどうだったか（生徒側の自分自身の取組に対する評価）を訊いています。

全ての項目で肯定的な回答の割合が授業を重ねる中で増加しているのは、教師がねらいとした取組が生徒に伝わり、生徒自身もこれをしっかり受け止めて学習に取り組んでいるということであり、非常に嬉しい結果です。項目別にみると、質問項目1・6では、2度の調査でいずれも9割を超えていることから、落ち着いた雰囲気の中、他者の考えを聞く姿勢が身につけていることがわかります。しかし一方で、質問項目2・7から、苦手としている生徒が最も多いのは、**自分の考えを他者に伝えること**であること、質問項目5・10からは、**学習を振り返り、次の学習へ繋げる意識**にも課題があることがわかりました。また、質問項目3・8、質問項目4・9からは、**ねらいやめあてを意識した取組や話し合い活動**については、教師の意図は伝わっているものの、まだまだ自分自身の取組が不十分だったと感じている生徒がいることが見て取れます。今後もこの結果と分析をもとに、研修担当、各教科部会等で話し合いを重ね、身に付けさせたい資質・能力を確実に育む授業改善に努めてまいります。

校長室より～がんばれ3年生！



2月14日（月）は公立高等学校の願書受付の最終日。191名の3年生が、それぞれの第1志望の公立高校に出願を終えました。一人一人がこれまで長い時間をかけて自分の進路に向き合い、それぞれのやり方で精一杯準備をしてきたことと思います。感染症という例年にはない困難とも闘いながら、2月24日（木）25日（金）の学力検査当日に向けて、悔いの残らないよう最後のまとめと調整の日々を送っている3年生に、心からエールを送ります。

この時期、「受験は団体戦」とも言われます。3年生はどのクラスでも、すでに私立高校への進学が内定している人も含めて、皆がお互いに支えあい、励ましあい、気を使いあって過ごしており、落ち着いた中にも温かい雰囲気が感じられます。3月7日（月）の発表の後、すぐに迎える3月9日（水）の卒業式まで、友達と過ごせる残り僅かな時間を愛しみながら大切に過ごしたいという思いも、みんなの心にあるのでしょう。妙典中生として過ごす最後の日々が充実したものとなり、これから先の輝かしい未来に、最高の形で繋がりますように。がんばれ3年生！